

地区名：大分市内（大分城東側）

12-1

孔番：No.12

孔口標高：EL.3.50m

掘進深度：GL.-12.00m

本柱状図の深度：GL.0.00 - 3.00m

深度(m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記事	採取試料(化石、炭化物等)
0.45		埋土	腐植質砂質シルト	濃褐	腐植物混り 現世埋土（公園）	
1.00			細礫混りシルト質砂	褐	比較的均質なシルト質砂 府内城“帯曲輪” 築堤土	
1.80		最上部泥層	細砂混り腐植質粘土	濃褐	全体に淘汰が悪い 人為攪乱の可能性あり(?)	
2.00			砂質シルト～粘土 (腐植質)	濃褐～褐	粘土及び細砂ないしシルトよりなる堆積構造 (ラミネーション)が残っている。 全体に腐植質	
2.20			粘土(腐植質)			
2.30			砂質シルト～粘土 (腐植質)			
2.35		上部砂礫層	粘土(泥質)腐植		下位境界シャープ	
2.44			礫混り中～粗粒砂	灰	安山岩質の垂円礫を含む パミスはみられない	
2.65						
3.00						

備考：

地区名：大分市内（大分城東側）

12-2

孔番：No.12

孔口標高：EL.3.50m

掘進深度：GL.-12.00m

本柱状図の深度：GL.3.00 - 6.00m

深度(m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記事	採取試料(化石、炭化物等)	
3.10		上部砂礫層	礫混り中～粗粒砂	灰	部分的に細礫が集中している 礫は安山岩礫主体  パミスはみられない		
3.18			細粒砂				
3.40			礫混り中～粗粒砂				
3.50							
4.00							
4.30			細礫				上下境界とも漸移的 安山岩主体  パミスなし
4.60			中～粗粒砂				
4.90			細～中礫				深度4.90～5.10m間は、淘汰が悪い (マトリックスに粘土分あり)
5.00			中礫				安山岩礫主体、パミスなし
5.10			中礫				下位境界シャープ
5.15	礫混り中～粗粒砂	灰～暗灰	礫は、安山岩の亜角礫主体	深度5.70m付近は、やや淘汰が悪い			
5.20							
5.35							
5.39							
5.47							
5.50	粗粒砂						
5.51	礫混り中～粗粒砂						
5.90			安山岩の亜角礫主体 パミスなし				
6.00	中礫						

備考：

深度(m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記事	採取試料(化石、炭化物等)
6.15		上部砂礫層	中礫	灰	以下の深度には細粒砂，シルトが含まれ、 淘汰が悪い ・深度6.15～6.21m ・深度6.32～6.45m ・深度6.57～6.63m	
6.21			礫混り細粒砂			
6.32			中礫			
6.45			礫混り細～中粒砂			
6.57			中礫			
6.63			礫混り細砂			
7.00			中礫			
7.18					下位境界明瞭	
7.30		泥炭層 (上部砂礫層)	泥質粘土	黒褐	下位境界には乱れあり	
8.00		上部砂礫層	粗粒砂～細礫	灰～暗灰	全体にやや淘汰が悪い	
8.10			中礫			
8.20			泥炭			
8.21			粗～細礫			
8.60					下位境界は漸移的	
8.65		上部砂層	細～極細粒砂	暗灰	均質な砂層 弱いながら平行葉理みられる 最上部に軽石(パミス)薄層が挟まれる	
8.75						
9.00						

備考：

地区名：大分市内（大分城東側）

12-4

孔番：No.12

孔口標高：EL.3.50m

掘進深度：GL.-12.00m

本柱状図の深度：GL.9.00 - 12.00m

深度(m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記事	採取試料(化石、炭化物等)		
10.00		上部砂層	細～極細粒砂	暗灰	深度10.05mに角礫層を挟む(1.5cm)			
10.05						深度10.25～10.40m間は、ラミナが発達		
10.40								
10.50			泥質粘土	暗褐	上位境界はシャープ 下位境界は漸移的			
10.79			細粒砂	暗灰				
10.90			極細粒砂					
11.00			細～極細粒砂					
11.18								
11.20						灰	深度11.20m付近に灰色のセメンテーションバンドあり	
11.21			砂質シルト	暗灰				
11.30								
11.55	細粒砂							
11.65	極細～細粒砂							
12.00			極細粒砂					

備考：